



令和7年7月1日

### 宮崎大学医学部看護学科「ひむか看護実習Ⅱ」の実施について ～地域住民とともに健康を支える看護職の実践力を育成～

この度、医学部看護学科では、令和7年6月30日から7月4日までの期間、看護学科3年生を対象とした「ひむか看護実習Ⅱ」を実施いたします。

本実習は、これまで1年次に行ってきた「ひむか看護論」「ひむか看護実習Ⅰ」で学んだ地域理解や健康課題の知識を基盤とし、実際の地域での活動を通じて看護職としての実践力を高めることを目的としています。学生たちは、太田北自治会、内海やっこ荘、木花キャンパス、錦本町ひなたキャンパスなど宮崎の各地域・施設に分かれ、地域住民の健康促進や生活の質の向上に向けた事業の企画・実施に取り組みます。活動を通じて、地域住民や関係機関と協働し、看護職としての役割やまちづくりの視点を体験的に学ぶ機会とします。

また、実習期間最終日(7月4日午前)には、合同報告会を医学部プレゼンテーションホールにて開催し、「地域の健康を支える看護職としての活動」をテーマに、学生による発表を行います。報告会には地域関係者等の外部の方が参加される予定ですので、取材についてご検討いただければ幸いです。

#### 記

実習名:ひむか看護実習Ⅱ

実習期間:令和7年6月30日(月)～令和7年7月4日(金)

実習場所:太田北自治会、内海やっこ荘、木花キャンパス地域デザイン棟・構内、錦本町ひなたキャンパス

目的:地域住民の健康促進や生活の質の向上に寄与する事業の企画・実施を通じて、地域における看護職の役割を学び、実践力を高める。

主な内容:地域診断、健康支援イベント・事業の企画・実施、合同報告会での成果発表

#### 【合同報告会】

日時:令和7年7月4日(金) 午前中

会場:医学部 総合教育研究棟 1階 プレゼンテーションホール

テーマ:地域の健康を支える看護職としての活動

※詳細は、別紙をご覧ください。

問い合わせ先

医学部看護学科 担当 板谷智也

e-mail:

tomoya\_itaya@med.miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-85-9814

発信元

企画総務部総務広報課

e-mail:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-58-7114

開講年度	2025
講義コード	JBa60
シラバスコード	JBa60
講義名	ひむか看護実習II
講義分類	医学部 看護学科 専門科目
担当教員	狩集 綾子／新田 汐里／川畑 沙央理／田邊 綾子／畠山 芳彰／板谷 智也
授業形態	実習
単位	1
対象学年	3年
開講日	通年 その他 その他
ナンバリングコード	B2042-WY*b-30070 分類: 医学部 看護学科 学問分野: NLM分類法 [WY] 看護学 レベル: 3:学部中級レベル (主に3年次生を対象とした科目) 使用言語: 日本語で行う授業
キーワード	
授業形式	対面授業
連携開設科目	

## 授業概要

### I. 実習目的

「ひむか看護実習Ⅱ」の目的は、地域住民の健康促進や生活の質の向上に寄与する事業を企画・実施することを通じて、地域における看護の視点を深めることである。本実習は「ひむか看護論」および「ひむか看護実習Ⅰ」で学んだ地域の特性と健康課題の関連についての知識を基盤とし、それを実践的に活用する。学生は、住民や地域のニーズを踏まえた健康支援のあり方を探求し、住民との協働を通じて健康に寄与する活動を行う。また、本実習では、まちづくりの視点を持ちながら、地域における看護職の役割を体験的に学ぶことで、今後の専門職としての実践力を高めることを目的とする。

### II. 実習目標

- ① 地域の健康課題を把握し、それに基づいた地区診断または事業を企画できる。
- ② 住民と地域のニーズを考慮した適切なアプローチ方法を選択し、効果的な事業を実施または提案ができる。
- ③ 他の学生や地域の関係者と協力して活動を進めることができる。
- ④ イベントの実施後に振り返りを行い、住民への影響や自身の学びを整理・分析できる。
- ⑤ 地域住民の健康を促進するための地域における看護職の役割を説明できる。

### III. 実習内容および方法

#### <実習期間>

2025年6月30日～2025年7月4日

\*上記を基本として、期間外に作業を行う場合がある

#### <実習施設>

太田北自治会

内海やっこ荘

木花キャンパス地域デザイン棟

木花キャンパス構内

錦本町キャンパス

#### <実習の方法>

実習前オリエンテーション（実習初日に実施する）

実習の進め方および注意事項

必要物品の貸し出し

その他

各施設での実習

合同報告会（実習期間最終日にプレゼンテーションホールで実施する）

テーマ「地域の健康を支える看護職としての活動」

\*外部の方が報告会に参加する場合がある

#### <実習記録>

日誌

合同報告会資料

最終レポート

#### <評価方法>

最終レポート、実習報告会プレゼン、実習目標の3種類の評価を行う。

レポート30点（得点×1.5）＋プレゼン30点（得点×1.5）＋実習目標40点

レポート：学生間相互評価＋教員評価

プレゼン：学生間相互評価

実習目標：教員評価（このシラバスでルーブリックが提示されています）

指定規則に定める別表の種類とそれぞれの別表に定める教育内容のうち、当該科目で教授する教育内容

（1単位、15時間）

別表3：「地域・在宅看護論」

#### 【実務経験を生かした授業内容】

本科目の担当教員は自治体職員や保健師として、長年にわたり地域住民と直接向き合いながら事業を企画・実施してきました。その経験を基に、学生が地域住民との対話を通じて健康課題を理解し、効果的な事業を立案できるよう指導します。また、本科目に含まれる「ピアカウンセリング」は、大学生が中高生に性教育活動を行うプログラムであり、県内各地での実践経験があります。こうした実務経験に基づく指導を通じて、効果的なカウンセリング手法や教育活動の進め方を学びつつ、地域住民の健康促進に寄与する看護実践力を養成します。

育成する資質・能力（ディプロマ・ポリシーとの関連）	
資質・能力	説明
① 地域の健康課題を把握し、それに基づいた地区診断または事業を企画できる。	<p>関連するディプロマポリシー： 「課題発見・解決力における『情報リテラシー』および『課題解決能力』」</p> <p>関連性： 地域の健康課題を正確に把握し、それに基づいた地区診断や事業を企画することで、学生は地域の実情に即した看護実践を通じて課題を発見し解決する能力を育成する。</p>
② 住民と地域のニーズを考慮した適切なアプローチ方法を選択し、効果的な事業を実施または提案ができる。	<p>関連するディプロマポリシー： 「知識・技能における『専門知識・技能』および『文化・社会・自然・地域の理解』」</p> <p>関連性： 住民や地域のニーズを踏まえて適切なアプローチを選び、事業を実施または提案することで、学生は地域特性を理解しながら、看護専門職としての実践力を高める。 ③ 他の学生や地域の関係者と協力して活動を進めることができる。</p>
③ 他の学生や地域の関係者と協力して活動を進めることができる。	<p>関連するディプロマポリシー： 「人間性・社会性・国際性における『倫理観』『コミュニケーション能力』『チームワーク』」</p> <p>関連性： 学生同士や地域関係者と協働しながら実習を進めることで、学生はチームでの効果的なコミュニケーションや調整力を身につけ、地域における看護の実践力を養う。</p>
④ イベントの実施後に振り返りを行い、住民への影響や自身の学びを整理・分析できる。	<p>関連するディプロマポリシー： 「知識・技能における『専門知識・技能』」</p> <p>関連性： イベント後に振り返りを行い、住民への影響や自身の学びを分析することで、学生は実践経験を知識として整理し、今後の看護活動に役立てるスキルを磨く。</p>
⑤ 地域住民の健康を促進するための地域における看護職の役割を説明できる。	<p>関連するディプロマポリシー： 「知識・技能における『専門知識・技能』」</p> <p>関連性： 地域における看護職の役割を説明できることで、学生は自らの実践経験を体系的に理解し、専門職としての役割を明確にする力を高める。</p>

学習目標
身につける資質・能力
① 地域の健康課題を把握し、それに基づいた地区診断または事業を企画できる。
② 住民と地域のニーズを考慮した適切なアプローチ方法を選択し、効果的な事業を実施または提案ができる。
③ 他の学生や地域の関係者と協力して活動を進めることができる。
④ イベントの実施後に振り返りを行い、住民への影響や自身の学びを整理・分析できる。
⑤ 地域住民の健康を促進するための地域における看護職の役割を説明できる。

授業計画				
回数	日時	授業内容・方法	授業時間外の学修	備考
第1回	2025年06月30日(月)	(午前) 全体オリエンテーション (午後) 各実習地に分かれて作業等を行う	全体オリエンテーション 各専門領域でのオリエンテーションおよびフィールドワーク前の事前学習・講義・演習など [実習]	事故等に気を付けて、楽しんで参加してください。
第2回	2025年07月01日(火)	(終日) 各実習地に分かれて作業等を行う	各専門領域でのフィールドワーク [実習] 発表会に向けた資料作成・準備	事故等に気を付けて、楽しんで参加してください。
第3回	2025年07月02日(水)	(終日) 各実習地に分かれて作業等を行う	各専門領域でのフィールドワーク [実習] 発表会に向けた資料作成・準備	事故等に気を付けて、楽しんで参加してください。
第4回	2025年07月03日(木)	(終日) 各実習地に分かれて作業等を行う	各専門領域でのフィールドワーク [実習] 発表会に向けた資料作成・準備	事故等に気を付けて、楽しんで参加してください。
第5回	2025年07月04日(金)	(午前) 最終合同発表会 (午後) 最終レポート作成等	最終合同カンファレンス [実習] 最終レポート作成	活発な議論を期待しています。 当日は、実習に関わってくださった地域住民の方が来られるかもしれません。

成績評価方法	
学習目標 (到達目標)	評価手段
① 地域の健康課題を把握し、それに基づいた地区診断または事業を企画できる。	日誌 合同報告会資料 最終レポート
② 住民と地域のニーズを考慮した適切なアプローチ方法を選択し、効果的な事業を実施または提案ができる。	日誌 合同報告会資料 最終レポート
③ 他の学生や地域の関係者と協力して活動を進めることができる。	日誌 合同報告会資料 最終レポート
④ イベントの実施後に振り返りを行い、住民への影響や自身の学びを整理・分析できる。	日誌 合同報告会資料 最終レポート
⑤ 地域住民の健康を促進するための地域における看護職の役割を説明できる。	日誌 合同報告会資料 最終レポート

成績評価基準
宮崎大学医学部履修細則による。 成績評価基準は、下記の標語と評点により、学習目標の到達度を評価し、秀、優、良、可を合格とし、不可は不合格とする。  秀：評点90～100点 優：評点80～89点 良：評点70～79点 可：評点60～69点 不可：評点0～59点  各授業科目の講義・実験・実習及び実技のそれぞれの時間数の3分の2以上出席しなければ、原則として試験の受験資格は認められません。

教材
教科書は指定しません。参考資料を提示しますが、購入は任意です（授業開始後に購入を判断することをお勧めします）。 資料がある場合は電子媒体でLMS（WebclassまたはGoogle Classroom）に提示します。 紙媒体の資料を配布する場合があります。

教科書				
ISBN	書名	著者	出版	価格

参考書				
ISBN	書名	著者	出版	価格
9784274211737	<a href="#">地域包括ケアシステム</a>	高橋, 紘士, 1944-	オーム社	2800

参考URL	
サイト名	URL
宮崎県ホームページ	<a href="https://www.pref.miyazaki.lg.jp/">https://www.pref.miyazaki.lg.jp/</a>

参考資料

オフィスアワー
<p>特に定めませんが、各担当者に事前連絡の上、予約をしてください。</p> <p>ただし、科目責任者（板谷）への事前連絡は不要です。随時対応します。いつでもどうぞ。 不在の場合がありますので、事前にアポイントメントを取ると確実です。 研究室：総合教育研究棟・4F・406号室 メール：tomoya_itatani@med.miyazaki-u.ac.jp</p>

関連する授業科目
<p>ひむか看護論 ひむか看護実習 I</p>

履修上の注意
<p><b>【履修上の注意】</b> この実習は、皆さんが地域の看護職として実際にどんなことができるのか、自由に考え、試してみるチャンスです。失敗を恐れず、むしろ「試して学ぶ」姿勢を大事にしてください！</p> <p>1. 新しいアイデアを思い切り試そう！ どんな些細なことでも、「こんな方法があるかも」と思ったらまず提案してみましょう。実際に行動してみないと分からないことがたくさんあります。あなたの発想が、地域に新しい風を吹き込むかもしれません。</p> <p>2. 仲間と一緒に成長しよう！ 実習では、同じ目標に向かう仲間がいます。アイデアを持ち寄って、より良い方法を一緒に考えてみてください。多様な視点に触れることで、自分一人では思いつかなかったことが見えてきます。</p> <p>3. 将来をイメージしながら取り組もう！ 今学んでいることは、卒業後の実践に直結しています。この実習で得た気付きやスキルをどう活かしていきたいのかを考えながら取り組むことで、より深い学びが得られるでしょう。 失敗しても大丈夫！それが成長につながるからです。楽しんで、全力で実習に取り組んでください！</p> <p>*ルーブリックについて：シラバスで提示した以外にプレゼン（実習報告会プレゼン評価表）とレポート（最終レポート評価表）のルーブリックが実習要綱にありますので参照してください。</p>